

提出日 2020 年 4 月 16 日

国際センター所長 殿

2020 年度学習院大学海外留学奨学金
留学状況報告書（最終）

この報告書は、大学が、皆さんの留学について把握するために提出していただくものです。また、留学希望者や留学予定者の参考とするため、センター内で閲覧に供します。

提出の際は、すべての項目に記入の上、公開の可否をお知らせください。公開を希望しない項目については、「非公開希望」の欄に「✓」を記入してください。ただし、学籍番号と帰国後の連絡先（E-mail アドレスを除く）は非公開を、留学先大学名は公開を原則とします。

上記の目的で利用することについて、報告書の提出をもって、同意したものとみなします。

非公開希望	項目	内容		
	所 属	国際社会科学部学 部／研究科	国際社会科学学科／専 攻	3 年（留学年次） 3 年（帰国年次）
	氏 名		学籍 番号	(原則非公開)
	帰国後の 連絡先	〒 Tel/Fax : 携帯 : (原則非公開)		
		E-mail : ※留学希望者からの直接の問い合わせ <input checked="" type="checkbox"/> 可・不可		
公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 オーストラリア国立大学		
	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2020 年 2 月 1 日 ～ 2020 年 10 月 31 日 出国日 2020 年 2 月 7 日 最終帰国日 2020 年 12 月 29 日		

留学の状況について、各項目について書いてください。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 「学習院大学海外留学奨学金」の主な支出内容と金額の内訳

寮費 100,000

(2) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学前は、幼少期に海外に住んでいた経験や英語を学ぶことがすきな自分がいたことから英語には非常に自信がありました。実際に留学をして友人とのコミュニケーションはうまくとることができたにもかかわらず、授業では全くしゃべることができず、ただ黙ったまま授業が終わってしまうことが多く、留学前にはあった自信を大きく失ってしまったことを覚えています。この経験によって一時期友人と話すことさえ恐怖を感じてしまうようになり、今まですらすら読めていたはずの英語が一切読めなくなってしまうなど苦勞した時もありましたが、この状況にただ流されてしまうのではなく、どうにか改善しようとする自分がいたことが非常に重要であったと思いました。今までの勉強の仕方を変え、沢山のの人に相談し助けをもらい、状況改善に全力を注ぐことができた自分の行動力を高く評価したいと思います。一度は失ってしまった自信ですが、最後は真に取り戻すことができたのでよかったです。

(3) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

エッセイの書き方を事前にしっかり練習しておくべきであったと思いました。大学では、どの授業も必ず課題や試験にエッセイが出されました。単語や文法だけでなく、エッセイの構成の仕方、書き始める前の下調べの仕方などエッセイを書くためのプロセスを十分に身につけていれば心に余裕を持って留学先での課題や授業にとり組むことができたのではないかと思います。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

講義をする時間意外に全員で討論をする時間が各授業にもうけられており、教授の話した内容を生徒自身で考え、共有し、応用することができたため、その授業を勉強することがより楽しく感じることができました。教授もそれぞれの分野の第一線で活躍する方々ばかりであったのでとても専門的な内容を学ぶことができました。また、どの教授もただトップダウン的に生徒に講義するのではなく、生徒自身に問いを投げかけ一緒に考えるスタンスの方ばかりであったので誰もが参加できる/したくなるような授業で非常に面白かったです。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

図書館は24時間、夜中には寮まで送迎してくれるバスがあるなど生徒が非常に勉強しやすい環境でした。また、キャンパス内にも関わらず自然が豊かでありとても過ごしやすく非常に充実したキャンパスライフを送ることができます。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

以下の画像のように授業が留学生をサポートする講座が開講されています。読み、書き、しゃべり、リスニングを強化・手助けする授業が無料で毎週開催されており、各授業1時間～2時間程度です。

All times are expressed in AEST (Australian Eastern Standard Time)

Semester 2 Week 7
21-9月 22-9月 23-9月 24-9月 25-9月

Week 7	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
Using your Sources (choose one only)	10am-12				2-4pm
	Eda				Nicole
Using Presentation Language (choose one only)	10am-12			10am-12	
	Lisa			Joss	
Intercultural Awareness	12-2pm				
	Susila				
Using Discussion Language (choose one only)	2-4pm	10am-12			
	Eda	Eda			
Reading with a Purpose (choose one only)	3-5pm	10am-12			
	Lisa	Lisa			
Emotional Wellbeing		12-2pm			
		Susila & Cate			
Your Rights as a Part-Time Worker (choose one only)		2-4pm			3-5pm
		Lisa			Lisa
Finding the Right Tone (choose one only)		3-5pm			10am-12
		Pam			Pam
Common Language Errors (choose one only)			10am-12	12-2pm	
			Lisa	Lisa	
Writing with Unity (choose one only)			2-4pm	10am-12	
			Lisa	Lisa	
Communicating with Certainty (choose one only)			3-5pm	2-4pm	
			Joss	Joss	
LUNCHTIME CHAT SESSIONS					
Lunchtime Chat with Lisa	12-2pm				
	Lisa				
Bridging Cultures with Eda		12-2pm			
		Eda			
Movies with Joss			12-2pm		
			Joss		
Trending Issues with Susila				12-2pm	
				Susila	
All times are expressed in AEST (Australian Eastern Standard Time)					
Semester 2 Week 8					
28-9月 29-9月 30-9月 1-10月 2-10月					
Week 8	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面でのサポートでは、文化の違いになれるための授業、メンタルをサポートしてくれる授業、留学生のための観光ツアー、定期的に行われる交換留学生のための集いなどがあります。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大きな事件もほとんど起こることなく非常に安全です。

自転車の盗難をよく注意されますが、それ以外は平和な毎日でした。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Asia and the Pacific: Power, diversity and change	
Asia and the Pacific in Motion	Area Studies, Critical Reading
Sex, Gender and Identity: An Introduction to Gender Studies	ジェンダーと文化 1
Language and Society	言語と文化
Vietnamese 1	
Vietnamese 2	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 / アパート / ホームステイ / その他 ()

(2) 宿舎の探し方

大学の斡旋 / 自分で探した / その他 ()

⇒自分で探した / その他の場合のその方法と良かった点・悪かった点
良かった点 自分の性格や、資金面に合った寮を見つけることができる
悪かった点 特になし

(3) 家賃

月額 (現地通貨) 約 1600 ドル、(日本円) 約 12 万 8 千円

(4) 食事

食事付き (朝・昼・夕) / 自炊 / その他 ()

(5) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 / 自転車 / バス / 地下鉄 / その他 ()、計 分

(6) 感想、良かった点・悪かった点

生活費が少し高いですが、食事付きなので勉強にすべての時間を注ぐことができました。
夜遅くまで図書館で勉強しても、徒歩圏内なので帰るのは非常に安全。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 0 、(日本円) 約 0 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機 / 船舶 / その他 ()、(日本円) 約 17 万 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額・年額 約 1875 ドル 、(日本円) 約 15 万 円

※ 宿舍費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

インターナショナルキャッシュカード / クレジットカード / 国際ブランドプリペイドカード / 現金 / その他 ()

⇒ その方法についての感想、良かった点・悪かった点

悪かった点 財布を落としてしまい、すべてのカードを止めることとなり再発行までに時間がかかってしまいました。

良かった点 カード一枚でどこにでもいけたので、簡単に出かけることができた

5. 保険について

(1) 保険会社名

Allianz Global Assistance Overseas Student Health Cover

(2) 保険料

717 ドル、約 57360 円

(3) 加入した保険の種類、内容

種類 OSHC ESSENTIALS-SINGLE Premium

内容 ・ out of hospital medical treatment
・ in hospital medical treatment

- prescription medicines
- surgically implanted prostheses
- emergency ambulance transport

(4) 感想、良かった点・悪かった点

悪かった点は、歯医者に通うことは保証されていないので、虫歯になったときに対処しづらいこと

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物／船便／SAL 便／航空便／海外宅配便／その他（ ）

(2) 持って行って良かったと思う物

日本の薬

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

服やシャンプー、タオルなど生活に必要なもののほとんどは現地で購入できるのでわざわざ日本から持って行く必要はなかったかなと感じました

現地でのフォーマルな場ではドレスを着るので、日本のようにスーツを持って行く必要はなかったとわかりました。

(4) 持って行けば良かったと思う物

特になし

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業後は友人と図書館に行き、夜中まで課題や予習復習をしていました

(2) 週末

課題、予習復習をすることがほとんどでしたが、時間があるときは部活動（私は歌舞伎クラブとバトミントンクラブに所属していました）に参加し、日常品の買い物、友人とお出かけをしていました。

8. 後輩へのアドバイス等

オーストラリア国立大学での留学は、日本とは比にならないほどの勉強量です。いかに自分がモチベーションを高く保ち、そしていかに効率よく時間を利用できるかで生活の充実度が大きく変わってきます。学校のシステムやサービスなど利用できるものはすべて利用し、周りの人たちにも助けをもらいながら（感謝を絶対に忘れないこと）、全力で勉学・友人関係・クラブ活動に励むことができれば一生忘れることのない留学生活を送ることができると思うので頑張

ってください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

クレジットカードは分散して持つことをおすすめします。

一つの財布にすべてを入れてしまうと、その財布をなくした時に大変困ってしまうためです。

実際に私はカードすべてなくしてしまい、カードを止めることになってしまったので。。気をつけてください